技術を大切に、人を大切に、地球を大切に

株主通信 第113期 報告書

平成28年4月1日 ▶ 平成29年3月31日

株式会社タクマ

証券コード：6013

株主の皆さまへ

代表取締役社長
加藤 隆昭

平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

2016年度は第11次中期経営計画（３カ年）の折り返しとなる２年目にあたり、当社グループは「持続的成長の実現」を目指すものとして位置づけた本中期経営計画をグループ一丸となって推進してまいりました。

その結果、2016年度の実績としては、過年度に受注したごみ処理プラントやバイオマス発電プラントの建設工事などが順調に進捗したことで、売上高が前年度を上回る1,163億円となったほか、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益がいずれも前年度を上回りました。また、受注面におきましても、ごみ処理プラントの建設工事や基幹改良工事、運転・維持管理のほか、バイオマス発電プラントや下水汚泥焼却発電プラントの建設工事などを順調に受注し、受注高は前年度を大幅に上回りました。

一方で、建設需要の増加に伴い工事価格は依然として高水準で推移しており、今後も徹底したリスク管理・コスト管理を継続していく必要があると考えております。第11次中期経営計画の最終年にあたる2017年度につきましても、気を緩めることなく、引き続きグループの総力をあげて持続的成長の実現に向けてまい進してまいります。

今後ともタクマグループになお一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

CONTENTS

株主の皆さまへ …… 1
トピックス …… 3
事業の概況 …… 5
連結財務諸表 …… 7
会社概要、主要関係会社 …… 9
株式の状況 …… 10

表紙写真：2016年度の完成物件
ごみ処理プラント（左上）と
バイオマス発電プラント（右下）

2016年度の業績概要

2016年度の売上高は、受注したプラントの建設工事が順調に進捗したことから、前年度を上回る1,163億円（前年度比２％増）となりました。損益面では、売上高が増加したほか原価低減も進んだことから売上総利益が増加しており、研究開発費など販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益109億円（同19％増）、経常利益116億円（同20％増）、親会社株主に帰属する当期純利益85億円（同９％増）といずれも前年度を上回りました。

また、受注面ではごみ処理プラントの建設工事や基幹改良工事、運転・維持管理のほか、バイオマス発電プラントや下水汚泥焼却発電プラントも受注しており、2016年度の受注高は、1,910億円（同91％増）と前年度を大幅に上回りました。

2017年度の業績見通し

稼働から長期間が経過し老朽化したごみ処理プラントの基幹改良工事や延命化工事の需要のほか、再生可能エネルギー（電力）の固定価格買取制度を背景としたバイオマス発電プラント、下水高度処理施設など、当社グループの主要製品であるエネルギー・環境関連事業には引き続き需要が見込まれております。一方で、東京オリンピック開催に向けたインフラ整備などの公共投資の増加や景気の回復により、工事価格などは依然として高水準で推移しております。

2017年度の業績につきましては、ごみ処理プラント、バイオマス発電プラントなどの工事の進捗により、売上高は1,150億円と前年度並みとなる予定ですが、営業利益は90億円、経常利益は95億円、親会社株主に帰属する当期純利益は67億円と原価低減の効果が大きかった前年度を下回る見通しです。

配当について

当社は、激化する市場での競争力を確保するために企業体質の強化を図りながら、安定した配当を維持することを基本に、業績等を総合的に勘案し、利益還元を行う方針としております。

この方針のもと、2016年度につきましては期末配当金を１株あたり７円とし、昨年12月の中間配当金と合わせ年間13円とさせていただきました。2017年度につきましては、１株あたり年間14円の配当（中間７円、期末７円）とさせていただく予定です。

業績の推移と予想

レーザー式排ガス連続分析を用いたごみ質推定による自動燃焼制御システム（先行型燃焼制御）を開発

開発の背景と概要

近年、地球温暖化防止や省資源・省エネルギーの推進を背景として、多くの自治体でごみ処理発電の導入が積極的に進められています。しかし、一般家庭などから排出される厨芥類をはじめとした様々な種類のごみを焼却するごみ処理プラントでの発電は、燃料となるごみの発熱量（ごみ質）が安定しないために、ボイラ蒸発量も安定せず、発電量が不安定になるといった問題を抱えています。

当社はこの問題に対して、ごみ処理発電プラントや複合燃料を用いるボイラプラント等に広く適用可能な、レーザー式排ガス連続分析を用いたごみ質推定による自動燃焼制御システム（先行型燃焼制御）を開発し、特許を取得いたしました。

先行型燃焼制御システムの仕組みと効果

先行型燃焼制御システムとは、レーザー式排ガス連続分析を用いて排ガス中の二酸化炭素（CO_2）および水分（H_2O）の濃度を測定し、ごみ質をリアルタイムに推定することで、ボイラ蒸発量の変動を約４分前に予測し、ごみの供給量や燃焼空気量を制御することによって、ごみ質の一定でないごみ処理発電プラントでも安定的かつ高効率な発電が可能となる技術です。（※本システムの概要は下図の通り）

本システムの導入により、**①ボイラ蒸発量の安定、②発電量の増加、③所内消費電力と薬品使用量の低減**といった効果を見込むことができます。

当社は今後、ごみ処理発電プラントの新設・既設物件やバイオマス発電プラント等、より高効率な発電へのニーズのあるお客様へ、本システムを積極的に提案し、これらの物件の受注拡大に繋げてまいります。

先行型燃焼制御システムの概要

トピックス　グループ会社製品紹介 ～株式会社日本サーモエナー～

油焚高効率簡易貫流ボイラ「エクオスリンクスEQRH-1001型」発売

当社グループの株式会社日本サーモエナーは、総合運転効率向上を実現した「高効率簡易貫流ボイラEQRH-1001KM/AM」を平成29年6月から発売開始しました。

本製品は1,000kg/hクラスの簡易ボイラとしては業界初の「燃焼四位置制御」を採用しており、小規模店舗から工場まで、幅広い分野のお客様のご要望に対応いたします。

基本仕様

製品名	EQRH-1001KM/AM
換算蒸発量	1,000kg/h
定格運転時のボイラ運転効率	96%
ターンダウン比（最低出力）	1：4（25%）
燃焼制御方式	四位置制御
機器周囲騒音値	75dB以下

EQRH-1001型製品外観

技術特長

（1）ボイラ運転効率が大幅に向上

①最低出力を25%まで低減し、燃焼四位置制御方式を採用することで、低負荷運転時の効率が向上

②マルチパスフロー缶体の採用により低圧損・高効率を実現

（2）送風機の消費電力低減と低騒音化を実現

（3）ボイラ本体の水位を出力に合わせてきめ細かく制御することで、全負荷領域で乾き度の高い良質な蒸気の供給が可能

ガス焚真空式温水機（エレベータ積込可能型）「EOLM-100型」発売

当社グループの株式会社日本サーモエナーは、省スペース性をさらに追求した「真空式温水機（バコティンヒーター）EOLM-100GN/GP」を平成29年6月から発売開始しました。

本製品は標準タイプ（EOL-100）に比べ、奥行きが約150mm小さくなり、小型エレベータを使用しての搬入が可能となりました。

安全性が高く、長寿命。またSUS製熱交換器を採用し幅広い水質に対応可能なバコティンヒーターです。コンパクト化したことで、エレベータ搬入による設置工事（搬入）費用の削減も実現できます。

EOLM-100型製品外観

会社紹介

株式会社日本サーモエナーは、平成17年にタクマ汎用機械株式会社と荏原ボイラ株式会社を合併し設立されました。現在は貫流ボイラ、真空式温水機等の汎用品をはじめ、炉筒煙管ボイラ、水管ボイラ、熱媒ヒータ等の開発・製造・販売を行っており、幅広い商品・サービスをお客様へご提供しております。

今後も、より高い運転効率や環境性能の優れた製品作りを通して、世の中が必要とする高品質、高付加価値の商品・サービスのご提供で、お客様のニーズにお応えしてまいります。

同社ホームページでは、より詳しい情報をご提供しております。
http://www.n-thermo.co.jp/

売上高構成比率（2016年度）

環境・エネルギー（国内）事業

自治体向けの一般廃棄物処理プラント、資源回収プラント、下水処理プラント、汚泥焼却プラント、民間向けの産業廃棄物処理プラント、バイオマス発電プラント、ガスタービンコージェネレーションシステムの設計、施工およびメンテナンスのほか廃棄物処理を行っております。

売　上　高	90,643 百万円（前年同期比2.4%増）
営 業 利 益	11,726 百万円（前年同期比19.2%増）
受　注　高	163,505 百万円（前年同期比116.3%増）

一般廃棄物処理プラント

海外バガス焚きボイラプラント

環境・エネルギー（海外）事業

廃棄物発電プラントや東南アジア向けのバガス（サトウキビの搾りかす）を燃料とするバイオマス発電ボイラの設計、施工およびメンテナンスを行っております。

売　上　高	**2,222** 百万円 （前年同期比167.7%増）
営業利益	**△154** 百万円 （前年同期実績△223百万円）
受　注　高	**3,070** 百万円 （前年同期比256.5%増）

設備・システム事業

大学、研究所、病院向けの建築設備、空調設備や半導体産業向けのクリーンルーム、ケミカルエアフィルタ、洗浄・乾燥設備等の製造、販売を行っております。

売　上　高	**6,666** 百万円 （前年同期比13.0%減）
営業利益	**322** 百万円 （前年同期比8.3%減）
受　注　高	**8,041** 百万円 （前年同期比9.7%増）

民生熱エネルギー事業

ホテル、旅館から工場まで幅広い分野で活躍する貫流ボイラ、真空式温水機や、炉筒煙管ボイラ、水管ボイラ、熱媒ヒータ等の製造、販売、メンテナンスを行っております。

売　上　高	**17,164** 百万円 （前年同期比4.7%増）
営業利益	**916** 百万円 （前年同期比2.3%増）
受　注　高	**16,724** 百万円 （前年同期比1.7%増）

スーパーエクオスEQi(H)-6001NM

連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

	当　期 H29.3.31現在	前　期 H28.3.31現在
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,718	48,916
受取手形及び売掛金	44,953	45,177
商品及び製品	476	539
仕掛品	1,911	2,065
原材料及び貯蔵品	1,510	1,436
繰延税金資産	2,470	2,802
その他	1,161	2,110
貸倒引当金	△27	△39
流動資産合計	**110,175**	**103,009**
固定資産		
有形固定資産	**8,927**	**9,596**
無形固定資産	**299**	**313**
投資その他の資産		
投資有価証券	17,202	15,733
長期貸付金	912	963
繰延税金資産	2,210	2,648
その他	934	817
貸倒引当金	△460	△467
投資その他の資産合計	**20,798**	**19,695**
固定資産合計	**30,025**	**29,605**
資産合計	**140,201**	**132,614**

	当　期 H29.3.31現在	前　期 H28.3.31現在
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,456	23,532
電子記録債務	12,415	11,587
短期借入金	8,142	8,422
未払法人税等	2,531	1,255
前受金	7,935	7,700
賞与引当金	2,635	2,453
製品保証引当金	176	141
工事損失引当金	3,577	5,164
その他	4,071	2,885
流動負債合計	**61,943**	**63,144**
固定負債		
長期借入金	928	1,396
役員退職慰労引当金	152	188
退職給付に係る負債	9,010	8,667
その他	438	407
固定負債合計	**10,530**	**10,660**
負債合計	**72,473**	**73,804**
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,367	13,367
資本剰余金	3,768	3,768
利益剰余金	46,258	38,754
自己株式	△234	△232
株主資本合計	**63,159**	**55,657**
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,885	3,586
繰延ヘッジ損益	△20	△26
為替換算調整勘定	5	△11
退職給付に係る調整累計額	△590	△659
その他の包括利益累計額合計	**4,279**	**2,888**
非支配株主持分	**287**	**263**
純資産合計	**67,727**	**58,809**
負債及び純資産合計	**140,201**	**132,614**

連結損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当　期 H28.4.1～H29.3.31	前　期 H27.4.1～H28.3.31
売上高	116,309	113,088
売上原価	90,693	89,744
売上総利益	25,615	23,344
販売費及び一般管理費	14,641	14,154
営業利益	**10,973**	**9,189**
営業外収益	775	799
営業外費用	143	343
経常利益	**11,605**	**9,646**
特別損失	—	266
税金等調整前当期純利益	**11,605**	**9,379**
法人税、住民税及び事業税	2,858	1,558
法人税等調整額	171	11
当期純利益	**8,574**	**7,809**
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失（△）	24	△7
親会社株主に帰属する当期純利益	**8,550**	**7,817**

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

	当　期 H28.4.1～H29.3.31	前　期 H27.4.1～H28.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,590	6,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	142	△445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,787	△2,899
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△55
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	7,960	3,327
現金及び現金同等物の期首残高	48,335	45,007
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	836	—
現金及び現金同等物の期末残高	57,132	48,335

連結株主資本等変動計算書

（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	13,367	3,768	38,754	△232	55,657	3,586	△26	△11	△659	2,888	263	58,809
当期変動額												
剰余金の配当			△992		△992							△992
親会社株主に帰属する当期純利益			8,550		8,550							8,550
連結範囲の変動			△54		△54							△54
自己株式の取得				△2	△2							△2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）						1,299	5	16	69	1,391	24	1,415
当期変動額合計	—	—	7,504	△2	7,501	1,299	5	16	69	1,391	24	8,917
当期末残高	13,367	3,768	46,258	△234	63,159	4,885	△20	5	△590	4,279	287	67,727

会社概要 (平成29年3月31日現在)

設　　立　昭和13年6月10日
資　本　金　13,367百万円
本店の所在地　〒660-0806
兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
TEL 06-6483-2609
連結会社従業員数　3,447名

役　　員 (平成29年6月28日現在)

代表取締役 社長執行役員	加藤 隆昭		執行役員	泉 雅彦	株式会社日本サーモエナー 専務取締役	取締役 執行役員	田中 康二	コンプライアンス・CSR推進本部長 兼 コーポレート・サービス本部長
取締役 専務執行役員	沼田 謙悟	営業統轄本部長 兼 事業管理本部長 兼 環境本部長 兼 東京支社長	執行役員	喜多 由樹	株式会社ダン・タクマ 専務取締役	執行役員	冨田 秀俊	環境本部副本部長
取締役 常務執行役員	南條 博昭	エンジニアリング統轄本部長 兼 管理センター長	取締役 執行役員	西山 剛史	経営企画本部長	取締役 (常勤監査等委員)	榎本 康	
常務執行役員	眞鍋 隆	国際本部長	取締役 執行役員	竹口 英樹	プロジェクトセンター長	社外取締役 (監査等委員)	佐竹 弘通	
執行役員	谷 良二	建設センター長	執行役員	足立 光陽	エネルギー本部長	社外取締役 (監査等委員)	岩橋 修	
執行役員	内山 典人	設計センター長	執行役員	田口 彰	技術センター長	社外取締役 (監査等委員)	村田 実	

主要関係会社 (平成29年3月31日現在)

国　内

株式会社日本サーモエナー
　各種ボイラ及び関連機器の販売
株式会社タクマテクノス
　環境施設等の維持管理運営及びボイラ、環境設備等の設計・施工及び監理
株式会社北海道サニタリー・メンテナンス
　下水処理施設等の維持管理運営
株式会社タクマテクノス北海道
　ごみ処理施設等の維持管理運営
株式会社サンプラント
　空気調和設備、給排水衛生設備、電気設備等の設計・施工及び監理
タクマ・エンジニアリング株式会社
　環境設備プラント、エネルギープラント等の設計
タクマシステムコントロール株式会社
　環境設備プラント、エネルギープラント等の電気計装設備の設計
株式会社ダン・タクマ
　クリーン機器、ケミカルフィルタ、クリーンルーム、乾燥装置等の製造、販売
協立設備株式会社
　環境施設・機械設備、産業用ボイラ設備等の設計・施工及び監理
株式会社環境ソルテック
　水質、排気ガス、土壌汚染等、環境問題関連の分析、計量事業
カンポリサイクルプラザ株式会社
　一般廃棄物及び産業廃棄物の処理業務
長泉ハイトラスト株式会社
　一般廃棄物最終処分場の施設整備、運営及び維持管理
藤沢ハイトラスト株式会社
　一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理
いわて県北クリーン株式会社
　一般廃棄物及び産業廃棄物の処理業務
ひたちなか・東海ハイトラスト株式会社
　一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理
阿南ハイトラスト株式会社
　一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理
くるめハイトラスト株式会社
　一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理
ほくたんハイトラスト株式会社
　一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理
諏訪湖ハイトラスト株式会社
　一般廃棄物処理施設の運転及び保守管理
株式会社タクマエナジー
　電力小売事業

海　外

臺田環工股份有限公司（台湾）
　ごみ処理施設等のメンテナンス業務
SIAM TAKUMA Co., Ltd.（タイ）
　エネルギー及び環境関連プラントの販売及びアフターサービス

株式の状況

（平成29年3月31日現在）

発行可能株式総数	321,840,000株
発行済の株式総数	83,000,000株
株主総数	4,307名

■所有者別分布状況

■大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,708	10.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,660	6.8
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者　資産管理サービス信託銀行株式会社	4,022	4.8
日本生命保険相互会社	3,593	4.3
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	2,005	2.4
タクマ共栄会	1,727	2.1
株式会社三井住友銀行	1,621	2.0
日本土地建物株式会社	1,305	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,294	1.6
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,258	1.5

（注）持株比率は自己名義株式46千株を控除して計算しております。

【単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内】

単元未満株式の買増し

株主様がお持ちの単元未満株式と併せて1単元（100株）となる数の株式を、当社が市場価格で株主様に売却（株主様にとっては買増し）いたします。

例）25株ご所有の株主様 → 75株を買増しして、100株にすることができます。

単元未満株式の買取り

株主様がお持ちの単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。

例）25株ご所有の株主様 → 25株を当社に売却することができます。

※ご希望の株主様は、次頁の株主メモ欄に記載の特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）へお申し出ください。なお、証券会社等に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社へお申し出ください。

情報満載！ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

http://www.takuma.co.jp/

株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権　3月31日 剰余金の配当　期末　3月31日 中間　9月30日
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	みずほ信託銀行株式会社　証券代行部 〒168－8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 ＴＥＬ　0120－288－324（通話料無料）
特別口座管理機関	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541－8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 ＴＥＬ　0120－094－777（通話料無料）
公告方法	電子公告（当社のホームページに掲載） (http://www.takuma.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場証券取引所	東京（証券コード：6013）
単元株式数	100株

（ご注意）

1. 株主様の住所変更・買取請求その他お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合せください。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 証券会社等に口座をお持ちでない株主様の株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合せください。
3. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行・みずほ銀行の本支店でお支払いいたします。

TAKUMA
株式会社 タクマ

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC® C022915
www.fsc.org

VEGETABLE OIL INK